

大阪・シカゴ姉妹都市提携 45 周年記念事業  
大阪市立大学大学院 都市経営研究科 特別シンポジウム

# 女性のリーダーシップ、 アントレプレナーシップ



大阪市の姉妹都市であるシカゴ市は、女性のリーダーシップ人材育成に積極的に取り組む都市として全米でも知られています。7月にシカゴ市で開催されたグローバル・ユース・アンバサダー・リーダーシップサミットには、都市経営研究科の久末弥生教授が大阪市代表として参加し招待講演を行いました。同サミットは、シカゴ市と28の姉妹都市出身の14歳から16歳の女子を対象とした次世代のグローバルリーダーを育てる集中型リーダーシッププログラムであると共に、多様な女性グローバルリーダーの交流の場でもあります。今回、シカゴ市での新たな交流を契機に、同市のデポール大学からキャサリン・イバタ＝アレンズ教授、大阪市経済戦略局から和田彩部長をお招きし、女性のリーダーシップとアントレプレナーシップをテーマにご講演いただくと共に、本学女性研究者支援室の岩田千栄美特任助教も加わり、パネルディスカッションを展開します。

【日時】 2018年10月24日(水) 18:30～21:00

【会場】 大阪駅前第2ビル6F 大阪市立大学梅田サテライト 文化交流センターホール

【主催】 大阪市立大学大学院 都市経営研究科 【共催】 大阪市、シカゴ姉妹都市インターナショナル

【参加料】 無料、事前申し込み不要 【使用言語】 日本語

【プログラム】

18:30-18:35 開会挨拶

18:35-19:35 基調講演① 「イノベーションとアントレプレナーシップ：アジアの新型？」

キャサリン・イバタ＝アレンズ氏（デポール大学政治学部教授・

グローバルアジア研究プログラムディレクター）

基調講演② 「女性のリーダーシップ—姉妹都市シカゴの事例より—」

和田彩氏（大阪市経済戦略局立地交流推進部長）

19:50-20:50 パネルディスカッション

《パネリスト》キャサリン・イバタ＝アレンズ、和田彩、岩田千栄美（女性研究者支援室特任助教）各氏

《司会》久末弥生（都市経営研究科教授・副研究科長）

【問い合わせ先】 都市経営研究科（<http://www.gsum.osaka-cu.ac.jp/>） TEL：06-6605-3508

【プロフィール】（講師）●キャサリン・イバタ＝アレンズ氏（デポール大学政治学部教授・グローバルアジア研究プログラムディレクター）ノースウェスタン大学で国際政治経済の博士号を取得後、東京大学先端経済工学研究センターでJSPSポスドクフェロー、同志社大学客員研究員などを歴任。2011～2012年の「TOMODACHI 東北チャレンジ」発起人、2012年には経済産業省・米国防省より日米イノベーション・アントレプレナーシップ・カウンシルに任命される。主要著書として『（邦題）科学技術立国の彼方に：アジアにおけるバイオメディカルイノベーションとアントレプレナーシップ』（スタンフォード大学出版社）、『（邦題）日本におけるイノベーションとアントレプレナーシップ：政治、組織、ハイテク企業』（ケンブリッジ大学出版局）など。●和田彩氏（大阪市経済戦略局立地交流推進部長）1988年大阪市役所奉職。1998年より3年間、大阪市シカゴ事務所（当時）にて姉妹都市交流や大阪プロモーションを担当。帰国後、中小企業支援、企業等の誘致、国際経済交流などの担当を経て2015年より現職。40人あまりの部員とともに、国際交流、企業等の誘致業務などに取り組む。（パネリスト）●岩田千栄美氏（大阪市立大学女性研究者支援室特任助教）お茶の水女子大学卒業後、経営コンサルティング会社に入社。登録会員数35万人、年間調査依頼10万件的国内最大の顧客満足度調査事業を運営。26歳で女性初の統括マネージャーに就任。約100名の女性スタッフをマネジメントし、6年間で事業を10倍に成長させた。2014年に退社独立し、現在は女性社員育成のコンサルタントとして活動する。2017年より大阪市立大学女性研究者支援室特任助教。（司会）●久末弥生（都市経営研究科教授・副研究科長）北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了・博士（法学）、フランス国立リモージュ大学大学院法学研究科正規留学、アメリカ合衆国テネシー州ノックスビル市名誉市民。専門は行政法、民事訴訟法。単著『アメリカの国立公園法—協働と紛争の一世紀』（北海道大学出版会、大阪市立大学学友会顕彰2011年度優秀テキスト賞受賞）、『フランス公園法の系譜』（大阪公立大学共同出版会）、『現代型訴訟の諸相』（成文堂）、『都市計画法の探検』（法律文化社、第25回国際公共経済学会賞受賞）、『考古学のための法律』（日本評論社）ほか著書多数。